

ブレンで頑張ったこと・ブレンで学んだこと

苦手で、やっても意味がないと思っていた数学が大きく改善

私は五教科の中で数学が最も苦手な教科でした。

中1・中2の頃の成績は五教科の中で一番低く、テスト対策にも時間をかけていましたが、点が伸びることはありませんでした。中3になってからの都立対策でも、数学が一番点の低い教科でした。

しかし、ブレンの先生に各問で注目すべきところやよく使う解法を教えてもらい、実際に使って解いてみることを繰り返して解ける問題を確実に増やしていくことができました。今までいくらやっても成績が伸びず、やっても意味がないと思っていた数学がやればやるほどできるという自信を持つことができました。また、一番苦手だった教科が大きく改善されたことで安心感も得られました。

合格したと分かったとき

当日のテストはかなり緊張して、国語や英語の文がほとんど頭に入らず、数学の問題でもいつもなら気づく合同や相似を見落としてしまいました。自己採点をする前から「終わったな」という気持ちでいました。試験の日からずっとそんな気持ちだったので発表の日、自分の番号を見つけたときは驚きの方が大きく、間違えていないか何度も見返しました。手続きや学校へ報告をしているときも自分が合格したという実感はなかなかわきませんでした。

1年間、勉強をし続けるのはつらいし受験のことを考えるだけでも疲れると思います。めんどくさい、もうやめたいと思うことは何度もあるでしょう。そんなときは、自分がなぜその高校を目指しているのかとか、合格したときの自分を想像して乗り越えていってほしいです。

高校に進んでからは先生への質問や自習を中学生の頃より積極的に行い、自分の第一志望の大学に合格できるように努力していきたいです。



ブレーションで頑張ったこと・ブレーションで学んだこと ブレーションに入るまで

僕は、中学2年生の冬にブレーションに入りました。地域の野球チームに入っていたため、授業のスケジュールを自分で決めることができる個別指導のブレーションに入りました。

ブレーションでの取り組み 冬休み以降、理科で90点以上をとれるようになった方法

僕は、都立国際高校をずっと志望していましたが、学校の定期テストの点数があまり良くなかったので内申点が低く、また、実際に模試を受けても英語以外の点数が低くいつもB判定かC判定でした。

それまでと比べて自習室での勉強を増やしたところ、ある程度点数は伸びましたが、毎回のテストで点数の差が大きかったです。そこで、冬休みの間に理科の勉強を集中的に行った結果、理科で90点以上をとれることが多くなりました。僕は冬休みになってからようやく、理科と社会の点数は勉強をすればするほどよくなるということに気が付きました。新受験生のみなさんも、理科と社会の点数が思うように伸びないときには、徹底的に基礎を学び直すことをおすすめします。

僕の場合、ブレーションの入試特訓という授業を受けたことで実際に問題を解く力が向上したと思います。特に国語と数学においては、授業を受けるにつれて点数が良くなっていきました。

新受験生の皆さんへ

僕は、校長先生やブレーションの先生方、家族と相談した結果小松川高校を受験、合格することができました。しかし、入試直前まで受験校を悩んでいたことで、勉強に集中しづらいこともありました。新受験生の皆さんには自分に合った受験校を周りの人とも相談しながら決めて、勉強に集中できるように頑張ってください。自分にとって難しい決断も多くありましたが、最後まで努力を続けた結果、合格することができてとても嬉しかったです。



ブレーション
高校受験

合格体験記

ブレーションで頑張ったこと・ブレーションで学んだこと

中1の英語から引っかかっていた私が塾に入るまで

私が一番初めに思ったことは、塾に入るのが遅すぎたことです。

3年生の夏休み下旬から塾を選び始め、実際に入ったのは夏休みも終わりにさしかかった頃のため、受験への準備期間がとても短かったです。

私は英語が苦手で、正直に言うと中学1年生の文法もよくわかっていませんでした。

そのうえ、テスト後に復習もせず、学校の先生のテスト解説も右から左へと聞き流していました。塾に入る頃には、すでにそれが当たり前という状態でした。

そのため、塾に入るのが遅すぎたと後悔することがあります。

分かるまで丁寧に教えてくれる 苦手から自信へ

ブレーションの授業では、まず文法を1から丁寧に教えてくれて、苦手な英語も徐々に分かってきました。また、分からないところは分かるようになるまで教えてくれるため、疑問が減っていき、自信へと変わっていきました。

毎日勉強をすることで、自分の苦手な分野が分かり、しっかりと克服できたと思っています。

私が思うことは、早めに塾に入っておくことと、復習をしっかりとすること。

これらがとても大切だと思います。



K・Hさん



都立東高校

ブレーション
高校受験

合格体験記

ブレーションで頑張ったこと・ブレーションで学んだこと

高校受験を振り返って

私は中学3年生になって塾に入りました。

1～2年生の時は、テスト前でも勉強をしなかったため、テストの点数がとても低いことが何回もありました。

しかし、私は「それでもいいか」と思い、その後も勉強はしませんでした。

2年生が終わるころに親に言われ、少し勉強するようになりましたが、それでもやる気は全くありませんでした。

数学偏差値 10 up ! 英語の成績は 3 → 5 へ up !

ブレーションに入り、自習室に行くと席が空いていないことが何度もあり、毎日勉強している人を見て、私も少しずつ頑張ろうと思うことができました。

テスト前には自習室に通い、良い点数をたくさんとることが出来ました。模試では苦手だった数学の点数も上がり、偏差値も 10 上げることが出来ました。また、英語は塾に入った頃から1番勉強をしていたため、2年生の頃の成績は3でしたが、3年生の2学期には5をとることが出来るようになりました。

無事第1志望校に受かることが出来たので、ブレーションに入って良かったと思います。



R・S さん



都立東高校
私立関東第一高校

ブレンで頑張ったこと・ブレンで学んだこと

高校受験を振り返って 家ではなく、ブレンの自習室で効率的に勉強！

僕は中学1年～2年生になる間の時期に入塾しました。

それまで他の塾に通っていて、実はあまり成績が伸びていませんでした。

ブレンに入塾したばかりの頃は週2回の授業だけで、土日勉強会などには参加していませんでした。テスト対策をブレンでやるようになり、テストを重ねるたびに勉強量が増えていきました。

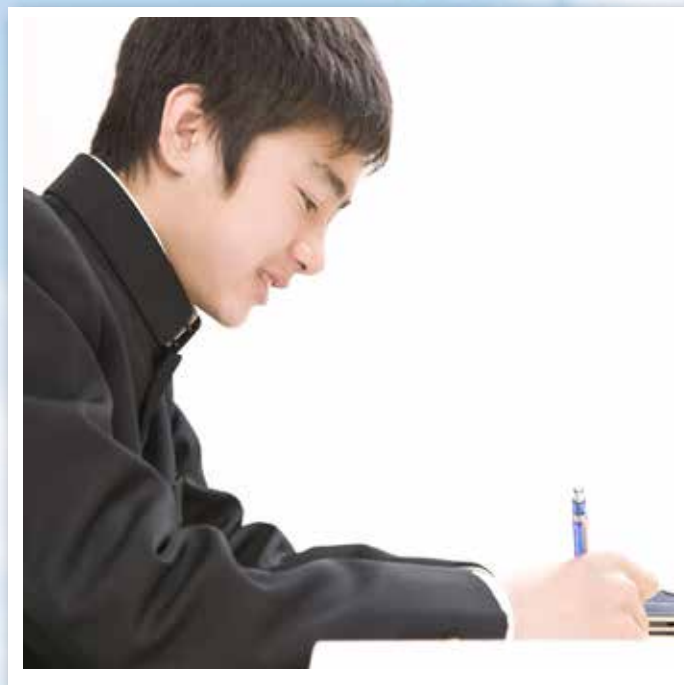
3年になってからは、2年生の頃より課題などが多くなりましたが、自習室に来て行いました。自分は、家ではあまりはかどらないので、ブレンの自習室に来ることが多くなりました。テスト前の土日勉強会も参加するようになり、勉強の効率も上がり、テストの点数が徐々に上がっていきました。

内申を意識すると 勉強の意識も変わる

3年の1学期から、内申を意識するようになりました。

内申を意識すると、普段の授業やテスト前の勉強への意識を変えることができました。3年の3学期になる頃には、先生へ質問したり、進んで復習をすることが増えました。志望校には、Vもぎの判定などで良い結果をとれていましたが、分からないところを徹底的になくすとさらに結果が良いものとなってきました。

また、内申もとても上がったことで、良い状態で推薦入試に向かい、合格できたのでとても良かったです。



ブレーションで頑張ったこと・ブレーションで学んだこと

高校受験を振り返って

私は推薦入試で合格しました。
通常授業とは別に、小論文対策をしてくださったおかげで合格できました。
また、夏休み終わりの8月のVもぎではC判定でしたが、最終的にはS判定になりました。

ブレーションでの勉強方法

英語 数学 小論文

入試直前期の入試特訓では、5教科の中でどのように問題を解いたら良いのかアドバイスをしていただいたり、単元ごとに細かく解説をしていただいたことによって、少しずつ成績を上げることが出来ました。

通常授業では、数学と英語を受講していました。数学では分からない問題を細かく教えていただきました。英語では、冬期講習までは文法をしっかりとやったり、長文をはやく読む練習をしました。その後の授業は受験に向けて長文の勉強をしました。

小論文対策では、数回、過去問題を解きました。その際に、ブレーションの先生たちからたくさんのアドバイスをいただきました。

ブレーションの自習室を使い、平日もしっかりと勉強することを心がけることで、しっかりと勉強することができました。おかげで、苦手だった英語が最終的には少しできるようになりました。

ブレーションに通えてよかったです。





考えながらできるようになっていく

私が受験生のとき辛かったことは、勉強しても点数が下がったり不安定な時があったことです。そういう時は落ち込んでしまって、どうしたらいいか分からなくなってしまいましたが、一度解いた問題をもう一度解き直して、解説を読み込んで、それでも分からなかった問題はブレーンの先生に聞いて納得するまで復習することで、点数はちゃんと安定してきました。

ほかにも、ブレーンでは入試やVもぎの過去問を繰り返し解いたのでそれが良かったと思います。難しい問題が出て「この間やったやり方かな」とか「この問題、前に出たのと似てるな」とか考えながらだんだんできるようになっていくのが楽しかったです。

後輩へのメッセージ

今年の受験生は、今は学校に行けなくてモチベーションが下がっているかもしれませんが、そんなときは自分が気になっている学校や行きたい学校について調べるとモチベーションが復活します。私は、他の人の内申が自分よりはるかに高いことを知ってやる気が出ました。辛いこと、大変なことが沢山あると思います。でも、最後まで諦めずに頑張ってください。

都立三田高校

K・H さん



合格

もっとやればよかった 直前まで残った不安

私がブレーンに入塾したのは中2の春でした。その時の成績はオール3でしたが、三ヶ月で3と4が半々になりました。それでも志望校にはなかなか届かず、苦戦しました。

3年生の冬、内申を決定する最後の期末テストを終えて、高校に提出する内申が発表されたとき、やっと志望校のボーダーラインをギリギリ超え、嬉しかったのを覚えています。このころから入試特訓も始まり、本格的に自分の志望校を絞りました。

冬期講習はあっという間に過ぎてしまい、1月のVもぎの結果がB判定になったとき、むしろそれまで避けていた理科や社会にも向き合う覚悟を決めました。初めて、心の中に危機感が沸き起こりました。「いつか点数は伸びるだろう」という甘い考えは消えました。

1月の最後まで、理科と社会に苦しみました。受験当日まで「もっとやればよかった」という根拠のない不安が残っていました。合格発表当日も、見に行きたくないと感じていました。発表の1時間後くらいに家を出て、覚悟して高校に向かいました。

合格したときの気持ち

自分の番号があったとき、最初は信じられませんでした。すぐ実感が出てきました。不安でイライラしたりもしましたが、今までやってきたことがもたらした結果は自分の中でうれしさや自信になりました。

やってよかった、心からそう言えました。

都立江戸川校

N . K さん

合格

合格

基礎をしっかりやる

初めて塾に通うことになったのがブレンでした。それまでちゃんと勉強していなかった英語と数学の中で、自分が何が苦手なのかを知り、向き合うことになりました。

落としてはいけない問題として、基礎だけは分からないものをゼロにするよう努めました。結果、学校での定期試験の点数が上がり、通知表の成績も上がりました。日々の学習の大切さを知りました。このことは、高校生になっても忘れずに心にとどめておきます。

全教科に言えることとして、基礎をしっかりやる、分からないものを放置しない、ということがあります。後々になって無駄な苦勞をしないためにも。基礎や当たり前のことがらをしっかりやることをお勧めします。

受験を振り返って

模試の結果が上がらなかったとき、直前になって慌てそうになったとき、ブレンでやってきたことを思い出し、少しでもリラックスして本番に臨みました。受験生として約1年頑張ったということが、これからの人生の糧になったと実感しています。

受験終了後、ブレンに来て自己採点をしたとき、合格に必要な点数を取れていたと分かった瞬間が一番うれしかったです。もちろん、合格した瞬間も嬉しかったです。

都立東高校

H . G さん

合格

部活引退は中3の11月

私は吹奏楽部に所属していたため、本格的に勉強を始めたのが中3の11月頃からでした。友達ほとんどの子が夏に部活を引退し、勉強を始めていたのでとても焦りを感じていました。その反面、勉強と部活の両立のために時間を有効に使えたと思います。

きちんと計画を立て、勉強で行き詰ったときには部活でリフレッシュして、私としては上手に両立できていたと思います。

得意科目がない そんなときの勉強法

私は特に得意科目がなく、分野によって点数はまちまちだったので、科目ごとに自分の中で目標を立てました。

国語は漢字の読み書き、数学は大問1。英語は英作文で点を多く取るなど小さなことから徐々に大きな目標にしました。これによって簡単な問題は確実に点数がとれるようになりました。理社は成績も上がらず、どうしたらよいのか分からなかったので先生に相談して基礎を徹底的に行うことで結果につながりました。

受験は団体戦 努力なくして成功なし

先生方だけではなく同じ校舎の中3生全員で最後まで一緒に頑張ったことが良かったです。同じ状態だからこそ励ましあったり、勉強して、個人戦ではなく団体戦だと感じました。

この1年間、私はとても成長したと思います。

努力は必ず報われるわけではないけれど、努力しなければ成功もない。この言葉を思い出して日々頑張ってきました。

都
総立
合晴
高海
校